

「子供の四季を通したふだんの生活に関する調査」結果の概要

お月見や七草がゆなどの行事を体験した小学生の割合はおよそ3割。一方、節分やクリスマスなどの商品化された行事を体験した小学生はおよそ8割だった。

国立青少年教育振興機構では、子供たちの生活実態などを把握するため、四季を通したふだんの生活の様子について、全国の国立青少年教育施設を利用した小・中学生にアンケート調査を実施しました。

【調査の概要】

- 調査期間：平成 26 年 4 月～平成 29 年 5 月
- 調査方法：全国 27 の国立青少年教育施設を利用した子供たちに 3 か月ごとに年間 4 回、合計 12 回実施、60 項目についてアンケート調査
- 調査対象：小学校 3 年生から中学校 3 年生の児童及び生徒
- 調査対象者数：各調査回約 2,800 人、合計約 34,000 人

【調査結果のポイント（小学生に着目して）】

- 日本の昔ながらの遊びや文化を体験している小学生の割合は低い。
 - 小学生は、昔ながらの遊び [「草花遊び（花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと）をした」(28.5%)、「かるたやたこあげをして遊んだ」(40.1%) など] を体験している割合が低かった (p. 5、表 6)。
 - 小学生は、昔ながらの食に関する行事 [「家で七草がゆを食べた」(25.3%)、「子供の日に、家でかしわもちを食べた」(31.1%) 及び「お月見の行事をした」(32.8%)] を体験している割合がおよそ 3 割であった (p. 5、表 6)。
- 商品化・イベント化されている行事や文化を体験している小学生の割合は高い。
 - 小学生は、もとの行事から派生し、商品化・イベント化されている食に関する行事 [「節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした」(91.6%)、「お正月にお雑煮を食べた」(76.9%) 及び「年越しそばを食べた」(72.6%)] を体験している割合が高かった (p. 5、表 5)。
 - 小学生は、もとの行事から派生し、商品化・イベント化され、近年普及しつつある行事 [「家でクリスマスをした」(84.8%)、「バレンタインデーにチョコレートをあげたり、もらったりした」(75.8%)] を体験している割合が高かった (p. 5、表 5)。
 - 小学生は、もとの行事や文化から派生し、時代の変化に対応した行事や文化 [「地域のお祭りになどに参加した（夏）」(76.9%)、「年賀状（メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した」(77.9%)] を体験している割合は高かった (p. 5、表 5)。

● **小学生女子の方が小学生男子に比べて、人との関わりやコミュニケーションが活発で、また、生活技術を身につけている傾向がある。**

- 小学生女子は、小学生男子に比べ、「バレンタインデーにチョコレートをあげたり、もらった」(女子 90.6%、男子：69.3%)、「母の日や父の日にプレゼントをあげた」(女子 77.7%、男子：61.5%) 及び「年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した」(女子 84.3%、男子：70.9%) など、人との関わりやコミュニケーションについて、「はい」と答えた割合が高かった (p. 7、表 10)。
- 小学生女子は、小学生男子に比べ、「家族と一緒に食事を作った」(女子 79.3%、男子：66.5%)、「赤ちゃん(乳幼児)を抱っこしたことがある」(女子 67.3%、男子：54.7%) 及び「くだもの(リンゴやカキ等)の皮をナイフでむくことができる」(女子 59.3%、男子：46.7%) などの生活技術について、「はい」と答えた割合が高かった (p. 11、表 16)。

● **小学生は、災害、スポーツ文化など大きなニュースやトピックは、比較的よく知っているが、より専門的なニュースの認知度は低い傾向がある。**

- 災害、スポーツ、文化など大きなニュースやトピック [「複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている」(88.2%)、「テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている」(83.7%) 及び「アメリカのオバマ大統領が広島平和記念公園に行ったことを知っている」(80.8%)] について、小学生の認知度は高かった (p. 12、表 17)
- しかし、より専門的な内容 [「宇宙ステーションと補給機「こうのとりのゆりかご」をドッキングさせたのは日本人がすべて操作したことを知っている」(16.5%)、「アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている」(20.0%) 及び「和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている」(14.5%)] について、小学生の認知度は低かった (p. 12、表 18)。

【まとめ】

- 現在の小学生は、日本の伝統的な行事や文化、昔ながらの遊びを体験している割合は低い傾向にあり、また、より専門的な内容のニュースやトピックの認知度は低くなっている。
- このため、日本の伝統文化などを次世代に継承していくためには、その重要性を社会に広く発信することが求められる。さらに、ふだんの年中行事等において、子供たちが「主体的に参画」できるような場を工夫することや、世代間の交流活動などをより活発にしていくことが必要である。また、社会的な出来事をテーマに話し合いや意見交換などを行い、その話題を深める働きかけも重要であると考えられる。

【担当】

国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター センター長：明石要一 研究員：大嶋尚史
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 TEL：03-6407-7617 E-mail：kenkyu-soumu@niye.go.jp

I. 調査の概要

1. 調査の趣旨

「子供の四季を通したふだんの生活に関する調査」は、子供たちの生活実態などを把握するため、四季を通したふだんの生活の様子について、全国の国立青少年教育振興機構の施設を利用した小・中学生にアンケート調査を実施したものである。

2. 調査対象と方法

調査対象は、全国にある国立青少年教育施設（27施設）を利用した小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒である。

調査方法は、1年を4つの時期に区分（春：4月～6月、夏：7月～9月、秋：10月～12月、冬：1月～3月）し、年4回、各施設にアンケート用紙を郵送して実施した。調査実施の時期の直前の季節（例：7月に実施した調査では、その直前の春（4月～6月）のことを聞く、等）の内容を聞いた。

調査は、平成26年7月から平成29年5月までのおよそ3年間を通じて計12回にわたって実施し、各施設毎回100名程度の児童生徒に回答してもらった。

3. 調査実施時期と回答者数

調査実施時期と、回答者数は以下のとおりである。

表1 各調査回の実施時期と回答者数

調査回	実施時期	調査人数	性別					
			うち小学生	うち中学生	うち学年不明	うち男子	うち女子	うち性別不明
第1回	平成26年7月	3,165	1,863	1,272	30	1,606	1,511	48
第2回	〃 26年10月	3,208	1,916	1,287	5	1,719	1,472	17
第3回	〃 27年1月	2,558	1,574	855	129	1,278	1,230	50
第4回	〃 27年4月	3,358	609	2,728	21	1,620	1,718	20
第5回	〃 27年7月	2,640	1,724	874	42	1,315	1,288	37
第6回	〃 27年10月	2,810	1,330	1,265	215	1,481	1,295	34
第7回	〃 28年1月	2,088	1,289	719	80	919	1,126	43
第8回	〃 28年4月	2,912	450	2,423	39	1,603	1,287	22
第9回	〃 28年7月	2,792	1,807	958	27	1,302	1,470	20
第10回	〃 28年10月	2,974	2,230	716	28	1,506	1,444	24
第11回	〃 29年1月	2,323	1,286	966	71	1,223	1,075	25
第12回	〃 29年5月	3,125	498	2,587	40	1,557	1,543	25
合計		33,953	16,576	16,650	727	17,129	16,459	365

単位（人）

4. 調査内容

調査は質問項目に対して「はい」か「いいえ」で答えてもらう二者択一方式であり、調査回ごとに異なる5つの質問をした。また、子供たちがふだんから、触れている、体験している、及び関心を持っている、と考えられる内容について質問しており、以下の3つのカテゴリーに分けた。

- ① 年中行事や伝承遊び等にどこまで触れているか (21 項目)。
(以後「年中行事や伝承遊びに関すること等」という。)
- ② 家庭や地域での日常生活、生活習慣や生活技術はどのようになっているか (25 項目)。
(以後「日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等」という。)
- ③ 時事問題やニュース情報にどこまで関心を持っているか (13 項目)。
(以後「時事問題や情報に関すること等」という。)


※ 「ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった」(「年中行事や伝承遊びに関すること等」のカテゴリー) は、平成 27 年 1 月 (第 3 回調査) と平成 28 年 1 月 (第 7 回調査) に質問しており、その両方を合計した人数を母数として集計している。

※ 質問項目一覧は、p. 14 に掲載した。

【概要のみかた】

- ◇ 表中のパーセントの数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単一回答の質問項目の場合も、その和が 100.0% に一致しない場合がある。
- ◇ 表中のカッコ内の年月は調査時期のことを、また「n」は回答者数のことを示している。
- ◇ ・本概要では、まず、多くの子供が体験している (70%以上) 内容と、あまり子供が体験していない (30%以下) 内容を見る。
・次に各カテゴリーごとに「はい」と答えた割合が高い項目と低い項目について、小・中学生別及び小学生の性別によって傾向をみる。各カテゴリー内の割合ごとの項目数は以下のとおりである。

表 2 小・中学生別及び性別ごとの各カテゴリーの項目数

	高い項目	普通の項目	低い項目	合計
				
	多くの子供 が体験して いる		あまり子供 が体験して いない	
年中行事や伝承遊びに関すること等	7 項目	7 項目	7 項目	21 項目
日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等	8 項目	9 項目	8 項目	25 項目
時事問題や情報に関すること等	4 項目	5 項目	4 項目	13 項目

・そして、カテゴリー内の小・中学生別及び小学生の性別による割合の差 (ポイント) がおよそ 10 ポイント以上の項目についてみる。

表3 質問内容一覧

回	調査実施時期(質問した季節)	問	質問内容	カテゴリー
第1回	平成26(2014)年7月 (春)	1	子供の日に、家で「かしわもち」を食べた	○
		2	親せきや友だちの家に泊まった	△
		3	地域のお祭りなどに参加した	○
		4	自分用の携帯やスマートフォンを持っている	△
		5	若田さんが宇宙から半年ぶりに帰ってきたことを知っている	□
第2回	平成26(2014)年10月 (夏)	1	七夕で願い事を短冊に書いた	○
		2	家の人と宿泊を伴う旅行に行った	△
		3	お月見の行事をした	○
		4	地域のお祭りなどに参加した	○
		5	テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている	□
第3回	平成27(2015)年1月 (秋)	1	自分の通う学校で運動会があった	△
		2	ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった	○
		3	家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした	△
		4	年号(平成26年)よりも西暦(2014年)の方をよく使う	△
		5	はやぶさ2号が打ち上げられたことを知っている	□
第4回	平成27(2015)年4月 (冬)	1	節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした	○
		2	かるたやたこあげをして遊んだ	○
		3	正月に家族で初もうでに行った	○
		4	箸であずきをつかむことができる	△
		5	北陸新幹線がどの区間を走っているか知っている	□
第5回	平成27(2015)年7月 (春)	1	母の日や父の日に家族へ手紙やプレゼントをあげた	○
		2	草花遊び(花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと)をした	○
		3	家族で花見やハイキングに出かけた	○
		4	時間が気になって時計をよく見る	△
		5	日本の動物園でサルの赤ちゃんにシャーロットと名前をつけたことを知っている	□
第6回	平成27(2015)年10月 (夏)	1	終戦記念日を知っている	□
		2	夏休みに家族でお出かけした	△
		3	家でペットを飼っている	△
		4	世の中のニュース(事件や出来事)に関心がある	□
		5	宇宙ステーションと補給機「こうとり」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている	□
第7回	平成28(2016)年1月 (秋)	1	年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した	○
		2	ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった	○
		3	年末に家の大掃除をした	△
		4	くだもの(リンゴやカキ等)の皮をナイフでむくことができる	△
		5	去年ノーベル賞をもらった2人の人の名前を言える	□
第8回	平成28(2016)年4月 (冬)	1	バレンタインデーにチョコレートをあげたり、もらったりした	○
		2	お正月にお雑煮を食べた	○
		3	家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った	△
		4	家で決められたあなたのお手伝いがある	△
		5	アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている	□
第9回	平成28(2016)年7月 (春)	1	自分の通う学校で運動会があった	△
		2	「トランプ」や「UNO(ウノ)」で遊んだ	○
		3	自分の住んでいる地域の「燃えるゴミ」の出し方(収集日や入れる袋など)を知っている	△
		4	ふだん家では排泄(大便)を毎朝している	△
		5	アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島市の平和記念公園に行ったことを知っている	□
第10回	平成28(2016)年10月 (夏)	1	地域の防災訓練に参加したことがある	△
		2	転んで手足をすりむいたり、植物の葉っぱで指を切ったり、トゲを刺したりしたことがある	△
		3	通学途中で災害があった時、どこに避難するか家の人と話し合っている	△
		4	外出する時、いつも行先を家の人に言っている	△
		5	複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている	□
第11回	平成29(2017)年1月 (秋)	1	年越しそばを食べた	○
		2	赤ちゃん(乳幼児)を抱っこしたことがある	△
		3	家でクリスマスをした	○
		4	寝る前に学校の準備をしている	△
		5	「冬至」の意味を知っている(日本の場合)	○
第12回	平成29(2017)年5月 (冬)	1	家で七草がゆを食べた	○
		2	正月に福笑いをした	○
		3	家族と一緒に食事を作った	△
		4	茶碗や汁椀などを正しく配膳する(並べる)ことができる	△
		5	和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている	□

○：年中行事や伝承遊びに関する事等、△：日常生活、生活習慣及び生活技術に関する事等、□：時事問題や情報に関する事等

II. 調査結果の概要

1. 全体の傾向

(1) 多くの子供が体験している内容 (70%以上)

<ul style="list-style-type: none"> ・年中行事や伝承遊びに関する事等では、「節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした」(87.0%)、「家でクリスマスをした」(80.8%)及び「年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した」(79.9%)などの項目の割合が高かった。 ・日常生活、生活習慣及び生活技術に関する事等では、「家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った」(85.5%)、「箸であずきをつかむことができる」(83.9%)及び「外出する時、いつも行先を家の人に言っている」(83.5%)などの項目の割合が高かった。 ・時事問題や情報に関する事等では、「複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている」(88.4%)、「テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている」(87.5%)及び「アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島市の平和記念公園に行ったことを知っている」(83.4%)などの項目の割合が高かった。

表4 多くの子供が体験している内容 (70%以上)

複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている (平成28年10月 n=2974)	88.4%
テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている (平成26年10月 n=3208)	87.5%
節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした (平成27年4月 n=3358)	87.0%
家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った (平成28年4月 n=2912)	85.5%
箸であずきをつかむことができる (平成27年4月 n=3358)	83.9%
外出する時、いつも行先を家の人に言っている (平成28年10月 n=2974)	83.5%
アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島市の平和記念公園に行ったことを知っている (平成28年7月 n=2792)	83.4%
家でクリスマスをした (平成29年1月 n=2323)	80.8%
夏休みに家族でお出かけした (平成27年10月 n=2810)	80.1%
年末に家の大掃除をした (平成28年1月 n=2088)	80.1%
年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した (平成28年1月 n=2088)	79.9%
茶碗や汁椀などを正しく配膳する(並べる)ことができる (平成29年5月 n=3125)	79.2%
お正月にお雑煮を食べた (平成28年4月 n=2912)	78.9%
バレンタインデーにチョコレートあげたり、もらったりした (平成28年4月 n=2912)	78.3%
時間が気になって時計をよく見る (平成27年7月 n=2640)	74.3%
転んで手足をすりむいたり、植物の葉っぱで指を切ったり、トゲを刺したりしたことがある (平成28年10月 n=2974)	73.8%
寝る前に学校の準備をしている (平成29年1月 n=2323)	73.3%
年号(平成26年)よりも西暦(2014年)の方をよく使う (平成27年1月 n=2558)	73.2%
地域のお祭りなどに参加した(夏) (平成26年10月 n=3208)	72.9%
世の中のニュース(事件や出来事)に関心がある (平成27年10月 n=2810)	72.1%
年越しそばを食べた (平成29年1月 n=2323)	71.0%

(2) あまり子供が体験していない内容 (30%以下)

- ・年中行事や伝承遊びに関する事等では、「ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった」(9.9%)、「正月に福笑いをした」(18.1%)及び「草花遊び(花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと)をした」(26.2%)などの項目の割合が低かった。
- ・日常生活、生活習慣及び生活技術に関する事等では、「家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした」(22.3%)及び「地域の防災訓練に参加したことがある」(26.0%)の項目の割合が低かった。
- ・時事問題や情報に関する事等では、「宇宙ステーションと補給機「こうのとり」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている」(18.5%)及び「アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている」(27.3%)の項目の割合が低かった。

表5 あまり子供が体験していない内容 (30%以下)

ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった (平成27年1月及び平成28年1月 n=4646)	9.9%
正月に福笑いをした (平成29年5月 n=3125)	18.1%
宇宙ステーションと補給機「こうのとり」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている (平成27年10月 n=2810)	18.5%
家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした (平成27年1月 n=2558)	21.8%
地域の防災訓練に参加したことがある (平成28年10月 n=2974)	26.0%
草花遊び(花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと)をした (平成27年7月 n=2640)	26.2%
家で七草がゆを食べた (平成29年5月 n=3125)	27.1%
アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている (平成28年4月 n=2912)	27.3%
お月見の行事をした (平成26年10月 n=3208)	27.9%
かるたやたこあげをして遊んだ (平成27年4月 n=3358)	28.4%
子供の日に、家で「かしわもち」を食べた (平成26年7月 n=3165)	29.2%

2. 年中行事や伝承遊びに関すること等

(1) 小・中学生別でみた傾向

- ・小学生、中学生ともに「節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした」(小学生：91.6%、中学生：86.1%)と答えた割合が最も高かった(表6)。
- ・小学生、中学生ともに「ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった」(小学生：13.3%、中学生：3.4%)と答えた割合が最も低く、次いで「正月に福笑いをした」(小学生：24.1%、中学生：16.9%)が低かった(表7)。
- ・中学生は、小学生に比べ「トランプ」や「UNO(ウノ)」などの遊び、「かるた」や「たこあげ」などの伝承遊び、及び「七夕」や「お月見」などの伝統行事の体験の割合が低かった(表8)。
- ・中学生が「はい」と答えた割合が、小学生が「はい」と答えた割合よりも10ポイント以上高かった項目はなかった。

表6 年中行事や伝承遊びに関すること等で、多くの子供が体験している内容(小・中学生別)

小学生		中学生	
節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした	91.6%	節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした	86.1%
家でクリスマスをした	84.8%	年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した	85.7%
年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した	77.9%	お正月にお雑煮を食べた	79.3%
お正月にお雑煮を食べた	76.9%	バレンタインデーにチョコレートをあげたり、もらったりした	79.1%
地域のお祭りなどに参加した(夏)	76.9%	家でクリスマスをした	75.2%
バレンタインデーにチョコレートをあげたり、もらったりした	75.8%	年越しそばを食べた	69.0%
年越しそばを食べた	72.6%	地域のお祭りなどに参加した(夏)	67.0%

表7 年中行事や伝承遊びに関すること等で、あまり子供が体験していない内容(小・中学生別)

小学生		中学生	
ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった	13.3%	ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった	3.4%
正月に福笑いをした	24.1%	正月に福笑いをした	16.9%
家で七草がゆを食べた	25.3%	お月見の行事をした	20.4%
草花遊び(花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと)をした	28.5%	草花遊び(花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと)をした	21.1%
子供の日に、家で「かしわもち」を食べた	31.1%	七夕で願い事を短冊に書いた	24.2%
お月見の行事をした	32.8%	かるたやたこあげをして遊んだ	25.8%
かるたやたこあげをして遊んだ	40.1%	子供の日に、家で「かしわもち」を食べた	26.8%

表8 小学生が多く体験している内容(年中行事や伝承遊びに関すること等)

	全体	小学生	中学生	ポイント差
	「トランプ」や「UNO (ウノ)」で遊んだ	60.9%	71.6%	
七夕で願い事を短冊に書いた	36.8%	45.4%	24.2%	21.2
家族で花見やハイキングに出かけた	44.0%	49.1%	33.2%	15.9
かるたやたこあげをして遊んだ	28.4%	40.1%	25.8%	14.3
お月見の行事をした	27.9%	32.8%	20.4%	12.4
母の日や父の日に家族へ手紙やプレゼントをあげた	64.9%	68.8%	56.8%	12.0

(2) 小学生の性別でみた傾向

- ・小学生の男子、女子ともに「節分の日に豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした」(男子:90.8%、女子92.8%)と答えた割合が最も高かった。次いで男子は「家でクリスマスをした」(84.9%)、女子は「バレンタインデーにチョコレートあげたり、もらったりした」(90.6%)と答えた割合が高かった(表9)。
- ・小学生の男子、女子ともに「ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった」(男子10.3%、女子:16.2%)と答えた割合が最も低かった。次いで男子は「草花遊び(花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと)をした」(21.5%)、女子は「正月に福笑いをした」(23.3%)と答えた割合が低かった(表10)。
- ・小学生女子は、小学生男子に比べ「バレンタインデーにチョコレートあげたり、もらったりした」、「母の日や父の日に家族へ手紙やプレゼントをあげた」、「年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した」などの、人との関わりやコミュニケーションに関する体験の割合が高かった(表11)。
- ・小学生男子が「はい」と答えた割合が、小学生女子が「はい」と答えた割合よりも10ポイント以上高かった項目はなかった。

表9 年中行事や伝承遊びに関すること等で、多くの小学生が体験している内容(性別)

小学生男子		小学生女子	
節分の日豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした	90.8%	節分の日豆まきをしたり恵方巻きを食べたりした	92.8%
家でクリスマスをした	84.9%	バレンタインデーにチョコレートあげたり、もらったりした	90.6%
地域のお祭りなどに参加した(夏)	74.8%	家でクリスマスをした	84.8%
お正月にお雑煮を食べた	74.1%	年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した	84.3%
年賀状(メール・LINE(ライン)なども含む)を書いて出した	70.9%	お正月にお雑煮を食べた	82.8%
「トランプ」や「UNO(ウノ)」で遊んだ	70.7%	地域のお祭りなどに参加した(夏)	79.1%
バレンタインデーにチョコレートあげたり、もらったりした	69.3%	母の日や父の日に家族へ手紙やプレゼントをあげた	77.7%

表 10 年中行事や伝承遊びに関すること等で、あまり小学生が体験していない内容（性別）

小学生男子		小学生女子	
ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった	10.3%	ハロウィンで仮装して近所の家を回ってお菓子をもらった	16.2%
草花遊び（花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと）をした	21.5%	正月に福笑いをした	23.3%
家で七草がゆを食べた	24.2%	家で七草がゆを食べた	26.7%
正月に福笑いをした	24.6%	子供の日に、家で「かしわもち」を食べた	31.6%
子供の日に、家で「かしわもち」を食べた	30.4%	お月見の行事をした	34.0%
お月見の行事をした	31.7%	草花遊び（花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと）をした	36.8%
かるたやたこあげをして遊んだ	40.3%	かるたやたこあげをして遊んだ	40.1%

表 11 小学生女子が多く体験している内容（年中行事や伝承遊びに関すること等）

	小学生全体	小学生男子	小学生女子	ポイント差
	バレンタインデーにチョコレートをあげたり、もらったりした	75.8%	69.3%	
母の日や父の日に家族へ手紙やプレゼントをあげた	68.8%	61.5%	77.7%	16.2
草花遊び（花の首かざり、笹舟、草ぶえなどを作って遊ぶこと）をした	28.5%	21.5%	36.8%	15.4
年賀状（メール・LINE（ライン）なども含む）を書いて出した	77.9%	70.9%	84.3%	13.4
七夕で願い事を短冊に書いた	45.4%	40.6%	50.8%	10.1

3. 日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等

(1) 小・中学生別でみた傾向

- ・小学生は「夏休みに家族でお出かけした」(87.9%)、中学生は「家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った」(85.1%)と答えた割合が最も高かった(表12)。
- ・小学生、中学生ともに「家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした」(小学生24.8%、中学生:16.1%)と答えた割合が最も低く、次いで「地域の防災訓練に参加したことがある」(小学生:26.3%、中学生:24.4%)が低かった(表13)。
- ・中学生は、小学生に比べ「家族とのお出かけ」や「宿泊を伴う旅行」などの家族と触れ合う体験の割合が低かった(表14)。
- ・中学生が「はい」と答えた割合が、小学生が「はい」と答えた割合よりも10ポイント以上高かった項目はなかった。

表12 日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等で、多くの子供が体験している内容(小・中学生別)

小学生		中学生	
夏休みに家族でお出かけした	87.9%	家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った	85.1%
家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った	87.6%	箸であずきをつかむことができる	84.8%
外出する時、いつも行先を家の人に言っている	84.8%	年末に家の大掃除をした	82.9%
箸であずきをつかむことができる	80.8%	外出する時、いつも行先を家の人に言っている	79.9%
寝る前に学校の準備をしている	79.2%	茶碗や汁椀などを正しく配膳する(並べる)ことができる	79.7%
年末に家の大掃除をした	78.3%	年号(平成26年)よりも西暦(2014年)の方をよく使う	79.5%
茶碗や汁椀などを正しく配膳する(並べる)ことができる	77.7%	時間が気になって時計をよく見る	74.4%
転んで手足をすりむいたり、植物の葉っぱで指を切ったり、トゲを刺したりしたことがある	75.7%	夏休みに家族でお出かけした	72.3%

表 13 日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等で、あまり子供が体験していない内容（小・中学生別）

小学生		中学生	
家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした	24.8%	家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした	16.1%
地域の防災訓練に参加したことがある	26.3%	地域の防災訓練に参加したことがある	24.4%
自分用の携帯やスマートフォンを持っている	35.3%	自分の通う学校で運動会があった（秋）	36.1%
ふだん家では排泄（大便）を毎朝している	39.2%	家の人と宿泊を伴う旅行に行った	40.2%
自分の通う学校で運動会があった（秋）	41.0%	親せきや友だちの家に泊まった	40.3%
通学途中に災害があった時、どこに避難するか家の人と話し合っている	45.0%	ふだん家では排泄（大便）を毎朝している	43.9%
親せきや友だちの家に泊まった	46.8%	自分用の携帯やスマートフォンを持っている	47.2%
家でペットを飼っている	48.3%	家でペットを飼っている	47.8%

表 14 小学生が多く体験している内容（日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等）

	全体			ポイント差
		小学生	中学生	
夏休みに家族でお出かけした	80.1%	87.9%	72.3%	15.6
寝る前に学校の準備をしている	73.3%	79.2%	64.6%	14.6
家の人と宿泊を伴う旅行に行った	46.5%	50.7%	40.2%	10.5

(2) 小学生の性別でみた傾向

- ・小学生男子は「夏休み家族でお出かけした」(87.2%)、小学生女子は「外出する時、いつも行先を家の人に言っている」(90.7%)と答えた割合が最も高かった(表15)。
- ・小学生男子は「地域の防災訓練に参加したことがある」(27.7%)、小学生女子は「家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした」(19.3%)と答えた割合が最も低かった(表16)。
- ・小学生男子が「はい」と答えた割合が、小学生女子が「はい」と答えた割合よりも10ポイント以上高かった項目は「ふだん家では排泄(大便)を毎朝している」(12.4ポイント)であった(表17)。
- ・小学生女子は、小学生男子に比べ「家族と一緒に食事を作った」、「赤ちゃん(乳幼児)を抱っこしたことがある」及び「くだものの皮をナイフでむくことができる」などの、生活技術・習慣の体験の割合が高かった(表18)。

表15 日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等で、多くの小学生が体験している内容(性別)

小学生男子		小学生女子	
夏休みに家族でお出かけした	87.2%	外出する時、いつも行先を家の人に言っている	90.7%
家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った	86.3%	家族でおじいちゃん(おばあちゃん)の家に行った	89.8%
外出する時、いつも行先を家の人に言っている	79.2%	夏休みに家族でお出かけした	88.3%
年末に家の大掃除をした	79.1%	箸であずきをつかむことができる	84.8%
箸であずきをつかむことができる	77.2%	寝る前に学校の準備をしている	84.0%
転んで手足をすりむいたり、植物の葉っぱで指を切ったり、トゲを刺したりしたことがある	75.8%	茶碗や汁椀などを正しく配膳する(並べる)ことができる	79.3%
茶碗や汁椀などを正しく配膳する(並べる)ことができる	75.8%	家族と一緒に食事を作った	79.3%
寝る前に学校の準備をしている	74.5%	年末に家の大掃除をした	77.5%

表 16 日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等で、あまり小学生が体験していない内容（性別）

小学生男子		小学生女子	
地域の防災訓練に参加したことがある	27.7%	家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした	19.3%
家族で河原などでバーベキューや芋煮会などをした	29.0%	地域の防災訓練に参加したことがある	24.5%
自分用の携帯やスマートフォンを持っている	29.8%	ふだん家では排泄（大便）を毎朝している	33.0%
通学途中に災害があった時、どこに避難するか家の人と話し合っている	42.4%	自分の通う学校で運動会があった（秋）	37.0%
自分の通う学校で運動会があった（秋）	43.7%	自分用の携帯やスマートフォンを持っている	40.5%
親せきや友だちの家に泊まった	44.5%	通学途中に災害があった時、どこに避難するか家の人と話し合っている	47.8%
ふだん家では排泄（大便）を毎朝している	45.4%	親せきや友だちの家に泊まった	48.6%
くだもの（リンゴやカキ等）の皮をナイフでむくことができる	46.7%	家でペットを飼っている	49.2%

表 17 小学生男子の方が「はい」と答えた割合が高い項目（日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等）

	小学生全体	小学生男子	小学生女子	ポイント差
	ふだん家では排泄（大便）を毎朝している	39.2%	45.4%	

表 18 小学生女子の方が「はい」と答えた割合が高い項目（日常生活、生活習慣及び生活技術に関すること等）

	小学生全体	小学生男子	小学生女子	ポイント差
	家族と一緒に食事を作った	72.7%	66.5%	
赤ちゃん（乳幼児）を抱っこしたことがある	61.0%	54.7%	67.3%	12.5
くだもの（リンゴやカキ等）の皮をナイフでむくことができる	53.6%	46.7%	59.3%	12.5
外出する時、いつも行先を家の人に言っている	84.8%	79.2%	90.7%	11.5
自分用の携帯やスマートフォンを持っている	35.3%	29.8%	40.5%	10.7

4. 時事問題や情報に関すること等

(1) 小・中学生別でみた傾向

- ・小学生は「複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている」(88.2%)、中学生は「テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている」(93.1%)と答えた割合が最も高かった(表19)。
- ・小学生は「和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている」(14.5%)、中学生は「宇宙ステーションと補給機「こうのとりの」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている」(21.3%)と答えた割合が最も低かった(表20)。
- ・中学生は、小学生に比べ時事問題を知っている割合が高かった(表19、表20及び表21)。
- ・小学生が「はい」と答えた割合が、中学生が「はい」と答えた割合よりも10ポイント以上高かった項目はなかった。

表19 時事問題や情報に関すること等で、多くの子供が知っている内容(小・中学生別)

小学生		中学生	
複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている	88.2%	テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている	93.1%
テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている	83.7%	複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている	89.0%
アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島平和記念公園に行ったことを知っている	80.8%	アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島平和記念公園に行ったことを知っている	88.8%
はやぶさ2号が打ち上げられたことを知っている	69.3%	世の中のニュース(事件や出来事)に関心がある	77.3%

表20 時事問題や情報に関すること等で、あまり子供が知らない内容(小・中学生別)

小学生		中学生	
和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている	14.5%	宇宙ステーションと補給機「こうのとりの」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている	21.3%
宇宙ステーションと補給機「こうのとりの」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている	16.5%	アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている	28.6%
アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている	20.0%	去年ノーベル賞をもらった2人の人の名前を言える	31.2%
北陸新幹線がどの区間を走っているか知っている	25.3%	北陸新幹線がどの区間を走っているか知っている	31.4%

表21 中学生が多く知っている内容(時事問題や情報に関すること等)

	全体	小学生	中学生	ポイント差
	終戦記念日を知っている	51.4%	31.6%	
和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている	38.3%	14.5%	43.2%	28.8

(2) 小学生の性別でみた傾向

- ・小学生の男子、女子ともに「複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている」(男子：87.2%、女子：89.1%)と答えた割合が最も高く、次いで「テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている」(男子：84.3%、女子：83.2%)と答えた割合が高かった(表22)。
- ・小学生の男子、女子ともに「和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている」(男子：15.4%、女子：12.9%)と答えた割合が最も低く、次いで男子は「宇宙ステーションと補給機「こうのとり」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている」(18.5%)、女子は「アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている」(14.1%)と答えた割合が低かった(表23)。
- ・性別によって「はい」と答えた割合の差が10ポイント以上ある項目はなかった。

表22 時事問題や情報に関すること等で、多くの小学生が知っている内容(性別)

小学生男子		小学生女子	
複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている	87.2%	複数の台風が立て続けに上陸し、東北や北海道に大きな被害をもたらしたことを知っている	89.1%
テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている	84.3%	テニスの錦織圭選手が全米オープンで準優勝したことを知っている	83.2%
アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島平和記念公園に行ったことを知っている	81.0%	アメリカ合衆国のオバマ大統領が広島平和記念公園に行ったことを知っている	80.6%
はやぶさ2号が打ち上げられたことを知っている	72.0%	世の中のニュース(事件や出来事)に関心がある	70.6%

表23 時事問題や情報に関すること等で、あまり小学生が知らない内容(性別)

小学生男子		小学生女子	
和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている	15.4%	和食がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っている	12.9%
宇宙ステーションと補給機「こうのとり」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている	18.5%	アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている	14.1%
アメリカの研究グループが「重力波」を観測したことを知っている	22.4%	宇宙ステーションと補給機「こうのとり」をドッキングさせたのは日本人がすべてを操作したことを知っている	14.1%
北陸新幹線がどの区間を走っているか知っている	25.5%	北陸新幹線がどの区間を走っているか知っている	24.5%

国立青少年教育施設一覧

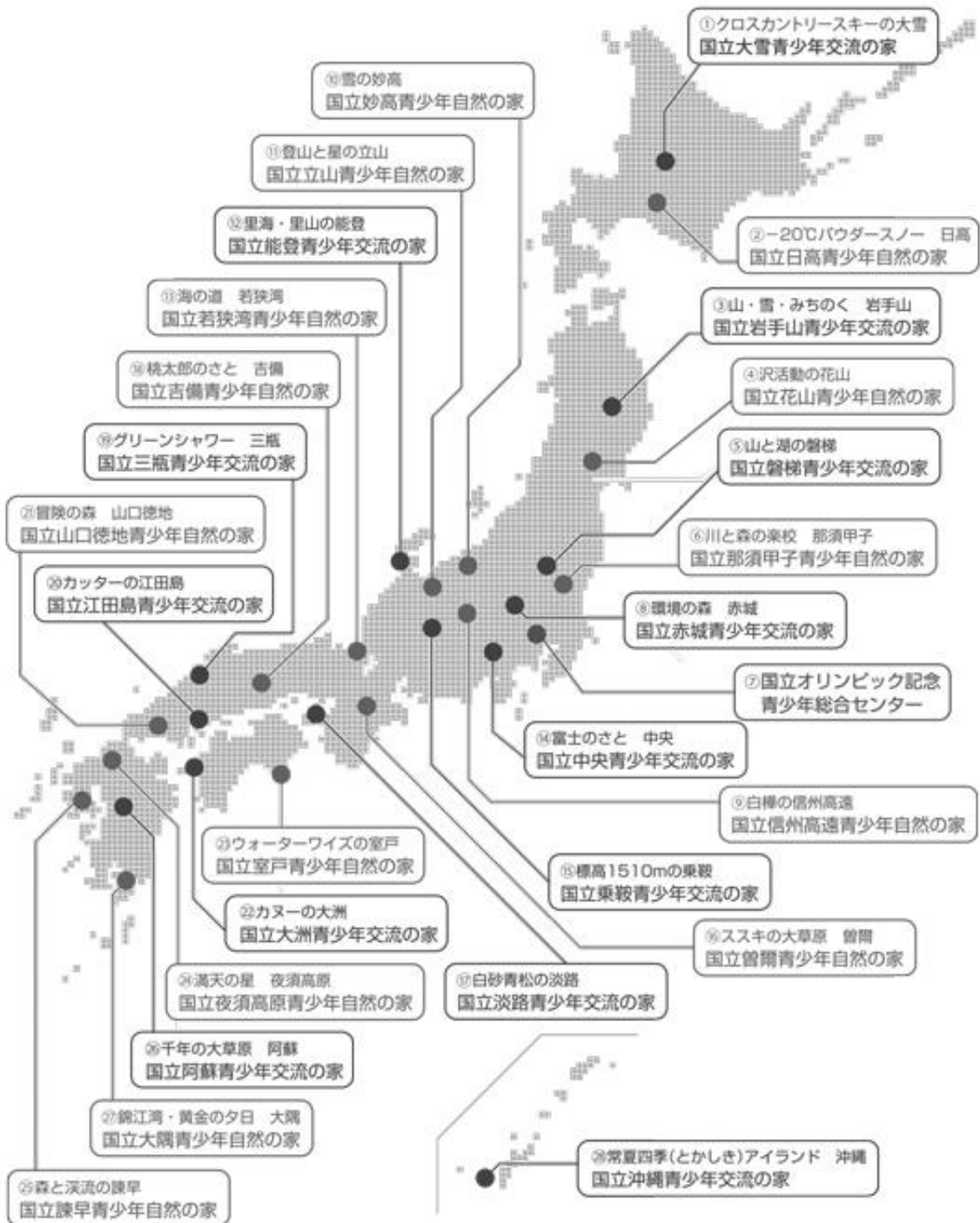


図1 調査を実施した場所（「⑦ 国立オリンピック記念青少年総合センター」を除く）